

BeFine!

証券コード 6869

第43期

期末株主通信

2009年4月1日～2010年3月31日



特集 ようこそシスメックス 従業員がご案内するシスメックスの拠点

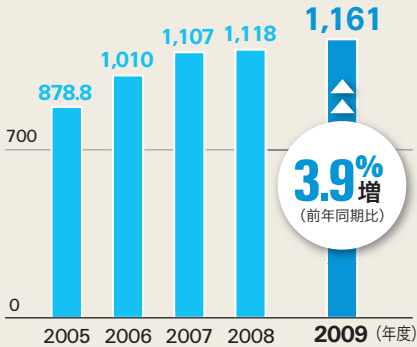
テクノパーク訪問!

検査の未来をつくる最先端の研究開発

詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

売上高

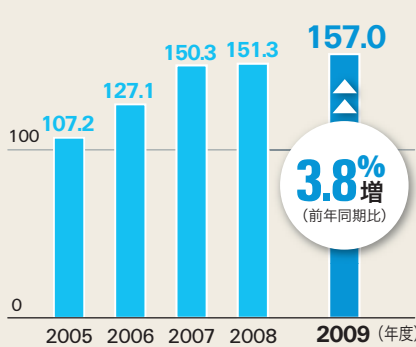
(億円)
1,400



海外全所在地で増収を達成し、昨年度に比べて43.3億円増の1,161億円となりました。

営業利益

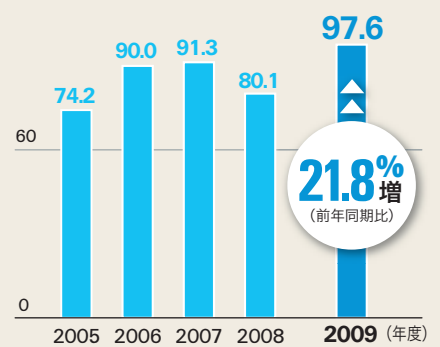
(億円)
200



増収効果(試薬)などにより、昨年度に比べて5.7億円増の157.0億円となりました。

当期純利益

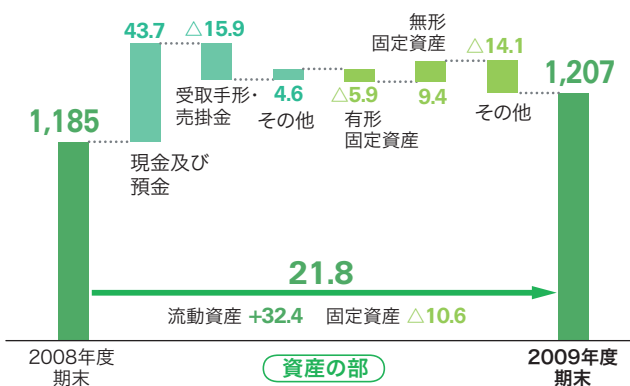
(億円)
120



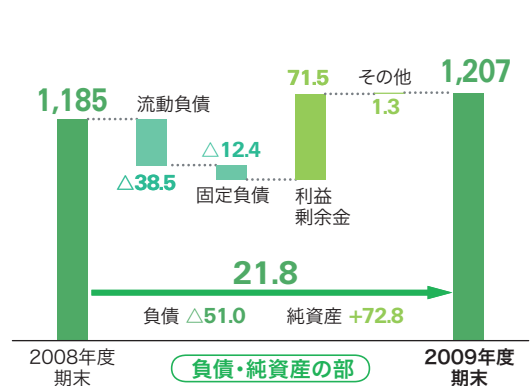
営業利益の増加と為替換算の影響が軽減したことにより、昨年度に比べて17.5億円増の97.6億円となりました。

●貸借対照表の増減要因

(億円)

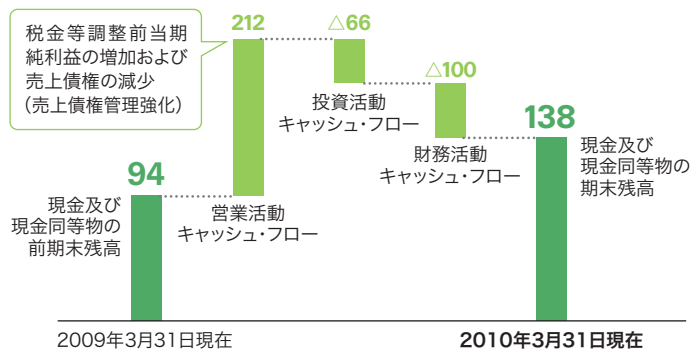


(億円)

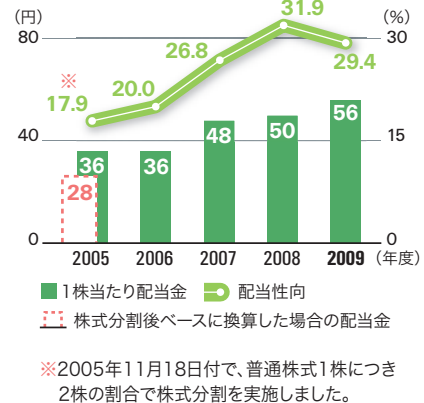


●キャッシュ・フローの増減要因

(億円)



●1株当たり配当金/配当性向



※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と異なる可能性があります。

円高の影響を受けつつも海外が伸長し、 売上、利益ともに過去最高を更新しました。

第43期のポイント

- ポイント ① 好調な海外は
全所在地で増収増益
- ポイント ② 増収効果(試薬)などにより利益が増加

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社グループの2009年度の業績は、円高による為替の影響を受けながらも海外が伸長し、売上・利益ともに過去最高を更新しました。売上高は前年同期比3.9%増、営業利益は同3.8%増、当期純利益は同21.8%増と大幅な伸びを達成しました。これは、海外の全所在地において増収増益を達成したことに加え、試薬売上の拡大などによるものです。前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比10.2%増、営業利益は同31.4%増となります。

海外は引き続き中国が好調で、現地通貨ベースでの売上高は前年同期比26.0%増、営業利益は同126.2%増と高成長を継続しています。このような海外の伸長により、当社グループの海外売上高構成比は68.3%となりました。

国内では、新型インフルエンザの流行により、簡易検査キットの売上が大幅に増加しましたが、為替換算により、グループ関係会社(海外)への内部売上高が減少し、日本所在地としては減収減益となりました。

当期の主な取り組みとして、免疫血清検査分野において試薬ラインアップを拡充しました。また、ベネルクス*における直接販売・サービス体制への移行、スペインやベトナムでの現地法人の設立、ドイツにおけるHITADO(ヒタド)グループの子会社化など、海外拠点の拡充を進め、グローバルベースでの事業展開をさらに加速させています。

配当につきましては、年初に1株につき50円(中間期25円、期末25円)を予定しておりましたが、期末に6円増配し、年間56円といたしました。これにより8期連続の増配となり、連結配当性向は29.4%となります。今後も継続的な安定配当を目指します。

2010年度の連結業績見通しにつきましては、売上高1,250億円、営業利益170億円、当期純利益108億円を計画しています。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

家次恒

いえつく ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年、代表取締役社長に就任。【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

*ベネルクス:オランダ、ベルギー、ルクセンブルクを指します。

【所在地別セグメント】

内部売上高：海外関係会社への売上
外部売上高：日本のほかに、韓国・台湾・モンゴルなどの売上を含む。

〈為替レート〉 (円)

	2007年度	2008年度	2009年度
1USドル	114.3	100.5	92.9
1ユーロ	161.5	143.5	131.2

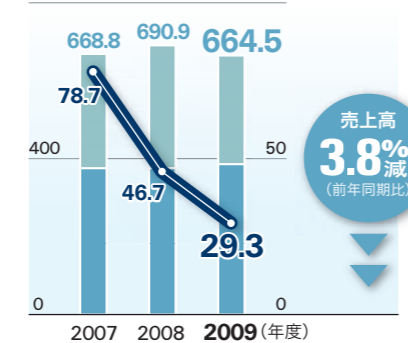
日本

- 1 新型インフルエンザの流行などにより、日本市場での売上は増加しました。
- 2 為替換算により、グループ関係会社への輸出(内部売上高)が減少し、減収減益となりました。



インフルエンザ迅速診断キット
ポクテム インフルエンザ A/B

内部売上高 (億円) 800
外部売上高 (億円) 100
営業利益 (億円) 100



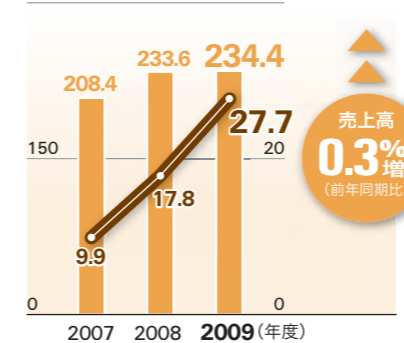
米州

- 1 ヘマトロジー分野*の売上が継続して好調に推移しました。
- 2 北米での直販化の伸長と試薬売上の増加により、営業利益が大幅に増加しました。



シスメックス アメリカ (シカゴ)

売上高 (億円) 300
営業利益 (億円) 40



現地通貨ベース
前年同期比 売上高 8.6% 増 営業利益 67.9% 増

欧州

- 1 直販化したベネルクス*が好調に推移し、欧州全体の売上に貢献しました。
- 2 フランス、イギリスにおいてヘマトロジー分野の売上が増加しました。



多項目自動血球分析装置 XE-5000

売上高 (億円) 500
営業利益 (億円) 100



現地通貨ベース
前年同期比 売上高 12.7% 増 営業利益 13.0% 増

中国

- 1 医療需要の拡大に伴い、大幅な増収増益を達成しました。
- 2 代理店の活用により、ヘマトロジー分野、血液凝固分野、尿分野において継続して売上が増加しました。



中国の拠点

売上高 (億円) 120
営業利益 (億円) 30



現地通貨ベース
前年同期比 売上高 26.0% 増 営業利益 126.2% 増

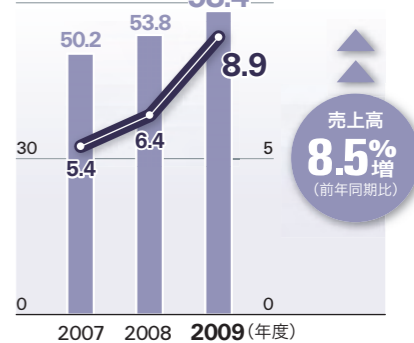
アジア・パシフィック

- 1 新興国(東南アジア・南アジア)が好調に推移しました。
- 2 インド、インドネシアでは高性能・小型分析装置(XSシリーズ)の売上が増加しました。



多項目自動血球分析装置 XS-1000i

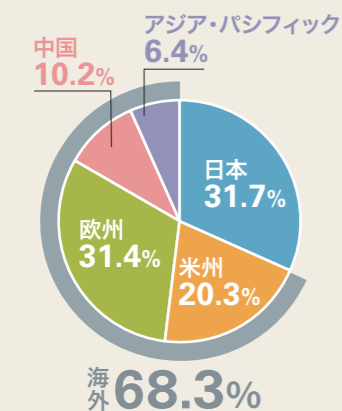
売上高 (億円) 60
営業利益 (億円) 10



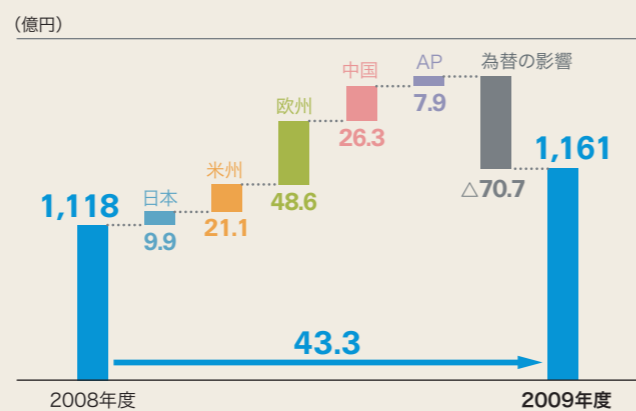
※韓国・台湾・モンゴルを除きます。
現地通貨ベース
前年同期比 売上高 16.9% 増 営業利益 50.0% 増

【地域別セグメント】

●売上高構成比



●売上高の増減要因



バンクーバー冬季オリンピック、
舞台裏ではシスメックス製品が活躍!

2008年の北京オリンピックに引き続き、今年2月に開催されたバンクーバー冬季オリンピックのドーピング検査に当社製品が採用されました。

持久力を競う種目では、より多くの酸素を全身の筋肉に供給する必要があり、血液中の赤血球に含まれるヘモグロビンが、全身に酸素を送る重要な役割を担っています。薬物などの不正な手段で赤血球を増やすドーピング

を、簡便かつ高精度に検査できる方法として、当社製品は世界的な評価をいただいています。

メイン会場には、血球分析装置 XT-2000i が設置されました。また、アスリートたちの突然の体調変化にそなえ、近隣のクリニックにも当社製品が導入されました。このように、選手たちが活躍したオリンピックの舞台裏で、当社製品も選手の体調管理や公正な競技の実施に貢献しました。



多項目自動血球分析装置 XT-2000i

*ヘマトロジー分野:血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*ベネルクス:オランダ、ベルギー、ルクセンブルクを指します。

テクノパーク訪問!

検査の未来をつくる最先端の研究開発



今回のご案内役

中央研究所 研究グループ 係長
松嶋 朋子

女性が安心して働ける環境が整備されているテクノパークでは、私のような女性の従業員も多く研究開発に取り組んでいます。

2008年のグランドオープン以来、シスメックスグループにおける研究開発の中核拠点として、より高度な技術の創出に取り組んでいるテクノパーク。医療の未来に貢献する先進の技術が生み出される現場を、当社の研究開発者をご紹介します。

私たちが訪問!

健太

シスメックスの株を保有して5年。神戸に住み、地元企業・シスメックスを応援している。

みどり

健太の妻。夫を支えるしっかり者で、健康への関心が高い。



「テクノパークは、世界中から多様な分野の研究者や開発者が集う場です」

健太 うわあ〜、広いですね! 緑がたくさんあって、まるで公園に来たみたいです。

松嶋 はい。「パーク」という名前のお通り、敷地の半分以上が、緑地や池などの自然のエリアなんです。

みどり 研究開発施設なのに、どうしてこんなに緑が多いんですか?

松嶋 テクノパークは「“知”の創造と継承」をコンセプトに、新たな発想が生まれる環境を目指して設立されました。国や専門分野を超えて集まる人たちに、それぞれの能力を思う存分発揮してもらうためにも、快適な環

境づくりは重要なテーマだったんです。

健太 研究開発者の数は、どのくらいですか?

松嶋 現在は、500人以上の従業員が働いています。電子や電気、機械、光学、遺伝子、生物、化学、ソフトウェアなど、さまざまな専門分野の研究者・開発者が集まっています。

みどり いろいろな分野の専門家がいますね。

松嶋 これまでシスメックスは、多様な分野の技術や知識を融合することで、独自の技術を確認してきました。テクノパークでは、研究者・開発者同士のコミュニケーションをよりいっそう促進することで、新たな技術を生み出そうとしています。次にご案内する研究開発の現場である「R&Dタワー」では、そのことがよくご理解いただけると思いますよ。

「さまざまな知識や技術の融合が新しいアイデアを創出しています」

健太 壁が少なく、見通しのいいオフィスですね。ここでは何の研究が行われているんですか?

松嶋 10階建てのR&Dタワーは、検査の分野ごとに階が分かれています。いま私たちのいる階では、「がん」や「糖尿病」をテーマにしたライフサイエンス分野の製品開発が進められています。皆様に健康で長生きしていただくための、新しい検査技術がここで生み出されているんですよ。

みどり ガラス越しに実験をしている人が見えますね。

松嶋 向こうは「ラボスペース」と呼ばれる実験スペースです。ラボスペースとオフィススペースが同じフロアにあり、オフィススペースはいつでも自由にレイアウトを変更できるんです。



1階には、学会や講演会を開催できる大型のホールや、学術文献などを収蔵したライブラリーもあります。

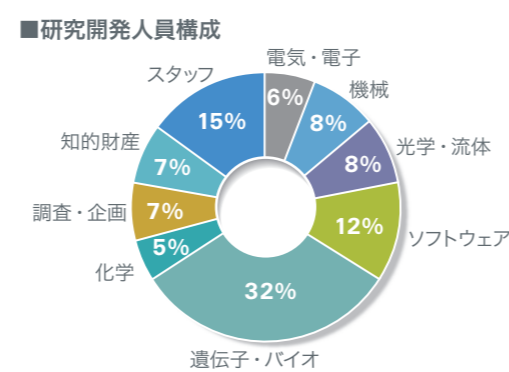


R&Dタワーの手前に見えるのはシンボルモニュメントです。

4つの球体は、「“知”の創造と継承」を実現させる「先進性」「革新性」「調和」「融合」を表しています。

勢いが感じられるデザインですね

「成長していく姿」も象徴しているそうですよ



ガラス越しにお互いの様子が分かるのか...

健太 どんなメリットがあるんですか？

松嶋 以前はそれぞれの部門ごとに活動していた研究者と開発者がプロジェクト単位で集結し、一貫したマネジメントのもとで研究開発を行えるようになりました。

健太 研究者や開発者が、お互いに情報を共有しやすくなったということでしょうか？

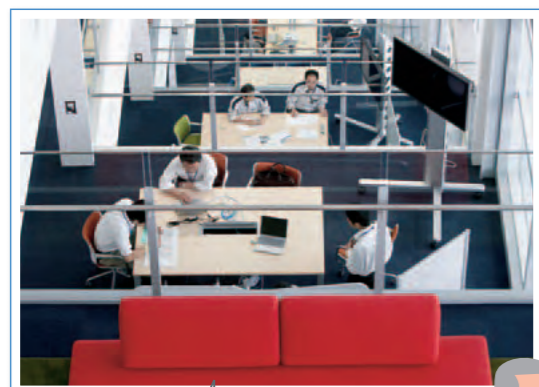
松嶋 はい。他社では機器と試薬をそれぞれ別の会社で開発して販売している場合が多いのですが、当社は全て自社で行っています。機器、試薬、ソフトウェアの開発、さらにはそこで生まれた発明に関する特許の管理も同じフロアで連携しながら進めることで、お客様の声を製品に活かしやすだけでなく、製品開発のスピードアップや効率化も図れるんです。

健太 研究所というと、一人で黙々と取り組むイメージがありました。違うんですね。

松嶋 研究者や開発者が分野や組織を超えて協力し、必要な議論が自然に沸き起こるような環境が整えられているんですよ。ちょっとこちらをご覧ください。

みどり まあ！ この吹き抜けからは、他の階の様子が見えますね。

松嶋 この吹き抜け空間は、研究開発者が集まるミーティングスペースです。このように、気軽に集まれる場所が増えたことで、コミュニケーションがとても活発になりました。では、少し外に出てみましょうか。



開放感があって居心地もよさそうだ...



研究段階から開発段階に進むと、研究者と開発者が一体となって製品化に向けた検討を行い、迅速に製品開発を進めています。

将来が楽しみです



IRウェブサイトではさらに多くの情報を掲載した「シスメックスバーチャルツアー」を公開中！

www.sysmex.co.jp/ir/
ぜひご覧ください！



まあ、きれいな庭園ね



「研究者や開発者の発想を刺激し、誰もが働きやすい環境があります」

健太 おや、こんなところに日本庭園が。

みどり 本格的な茶室もあるみたい。

松嶋 日本庭園・茶室は、お客様をもてなす場であるのはもちろん、私たちにとっても大切な空間です。科学技術は優れた文化背景のなかで生まれ、進歩してきたという考えのもと、ここでは文化と科学の融合から新たな発想が生まれることが期待されているんです。

健太 そういえば、ここに来るまでに、斬新なメニューをいくつか見かけました。

松嶋 よく気づかれましたね。テクノパークのあちこちに、研究者や開発者の発想の転換を促す仕掛けが設置されています。また、この敷地内にはキッズパークという託児所があって、子どもを預けることもできるんですよ。

みどり 女性が安心して働ける環境があるのは、素晴らしいことですね。

松嶋 ええ。実は私も、子育てをしながら働いているんです。

みどり 松嶋さんも、子育てと仕事の両立、頑張ってくださいね。

松嶋 ありがとうございます。



シスメックス キッズパークは、小学校就学前までの子どもを預けることができます。

シスメックスがわかる

3つのポイント

シスメックスの成長を支えているのは、長年の研究開発で培った独自の技術です。当社がこれまで生み出してきた技術、そして、これから世に出そうとしている技術をご紹介します。

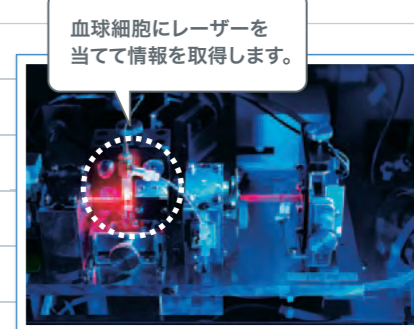
今回は技術について紹介します！



ポイント1 血球というミクロの世界を正確に詳しく分析

1マイクロリットル*あたり数千～数百万個も存在する赤血球や白血球。このミクロの世界を調べる「血球分析技術」が、シスメックスのコアテクノロジーです。世界で初めて、半導体レーザーを搭載した血球分析装置の実用化に成功したことにより、ひとつの血球細胞から得られる情報量が飛躍的に増えました。

*1マイクロリットル:1,000分の1ミリリットル。



血球細胞にレーザーを当てて情報を取得します。



世界最高の処理能力を誇る「XEシリーズ」検査業務の効率化や患者さんの待ち時間軽減など、高い付加価値を創出しています

ポイント2 コアテクノロジーを応用し対象領域を拡大

これまで培ってきた独自の技術をもとに、血液凝固、免疫血清、尿など、他の検査分野にも対象領域を拡大してきました。世界最高水準の性能を誇る当社の製品は、お客様からの評価も高く、**ヘマトロジー分野*に続き、現在では血液凝固検査(機器)、尿沈渣検査の分野でも「世界シェアNo.1」を獲得しています。**

*ヘマトロジー分野:血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを測定することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

ポイント3 今までにない新しい技術の創出に挑戦

遺伝子やたんぱく質を解析する最新の技術により、これまで不可能とされていた医療が可能になりつつあります。シスメックスは、主に「がん」や「糖尿病」などを対象に、**健康寿命の延長や患者さん一人ひとりに最適な医療の実現に貢献**する新しい検査・診断技術の創出に取り組んでいます。

研究開発中の技術

がん

- OSNA法(直接遺伝子増幅法)
- 細胞周期プロファイリング技術
- 子宮頸がんスクリーニング技術
- 血中循環がん細胞検出技術
- メチル化遺伝子検出技術 など

糖尿病

- 微侵襲グルコース測定技術
- 病態シミュレーション技術 など

「研究開発中の技術」については、当社ホームページ内の「研究開発」で詳しくご紹介しています

www.sysmex.co.jp/r_and_d/index.html

海外拠点を拡充し、事業展開を加速

シスメックスはグローバルでの事業拡大を目指し、世界各地に拠点を拡充しています。2009年度には、新たに6拠点を設立しました。



Sysmex Nederland B.V. (オランダ)



中国診断薬開発センター

■販売・サービス&サポート拠点

- [オランダ] Sysmex Nederland B.V. (ベネルクス地域における直接販売化の推進)
- [ベルギー] Sysmex Belgium N.V. (同上)
- [ドイツ] HITADO GmbH (POCT*事業への本格参入)
- [スペイン] Sysmex Espana S.L. (ライフサイエンス事業の拡大を加速)
- [ベトナム] Sysmex Vietnam Company Limited (販売・サービス体制の強化)

■研究開発拠点

- [中国] 中国診断薬開発センター (市場のニーズに合致した診断薬製品の早期開発)

*POCT: Point of Care Testingの略で、患者さんのベッドサイドや開業医、救急現場など、あらゆる場所で迅速かつ簡便に精度の高い診断ができる検査のこと。

「シスメックスグループ 長期環境目標」を策定

社会の全ての皆様に安心をお届けする企業であり続けるため、「シスメックスグループ長期環境目標」を策定しました。2020年度の目標達成に向けて活動を推進していきます。

※一部抜粋

地球温暖化対策	事業所における温室効果ガス排出量 50%削減 など
資源の有効利用と 廃棄物の削減	全対象事業所でリサイクル率、国内99% 以上、海外95%以上を達成 など
水資源の有効利用	事業所における水使用量30%削減

当社IRウェブサイト「個人投資家の 皆様へ」をリニューアル

従来の「個人投資家の皆様へ」サイト内の情報を充実させ、新コーナー「なるほど!シスメックス」としてリニューアルしました。ぜひご覧ください。

www.sysmex.co.jp/ir/

「個人投資家の皆様へ」
をクリック!



免疫血清検査分野の 試薬ラインアップを拡充

血液中のたんぱく質などを測定する免疫血清検査は、感染症、がん、心疾患などの診断から治療経過の観察まで幅広く利用されています。当社は、2007年に全自動免疫測定装置HISCL-2000iを発売し、B型・C型肝炎やHIVなどの感染症、バセドウ病などの甲状腺疾患を対象に、検査試薬を提供してきました。HISCL-2000iは、免疫血清検査の中規模病院向け製品として最高水準の性能を実現しており、今後も引き続き試薬ラインアップの拡充を推進します。



全自動免疫測定装置
HISCL-2000i (左) と試薬 (右)



表紙について…

米国・シカゴの拠点「シスメックス アメリカ」の前には、「Sysmex Way」の愛称で親しまれている通りがあり、イラストのモチーフとなった標識が実在しています。



会社概要

(2010年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 88億2,487万円
- 格付け A (R&I: 格付投資情報センター)
- 従業員数 3,914名(連結) 1,614名(単独)
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

■役員 (2010年6月25日現在)

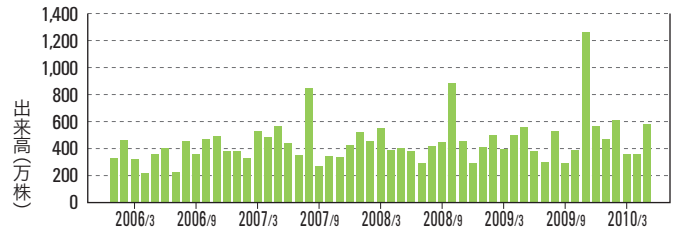
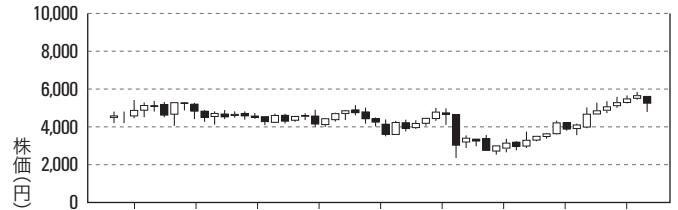
代表取締役社長	いえ つく 家次	ひざし 恒
取締役 専務執行役員	ゆき もと 雪本	けん いち 賢一
取締役 常務執行役員	はやし 林	まさ よし 正好
	おおひがし 大東	しのり 重則
	なかじま 中島	ゆき お 幸男
	たむら 田村	こう じ 幸嗣
取締役 執行役員	おべ かず 尾辺和也	や 也
	わたなべ 渡辺	みつる 充
執行役員	にし の たく じ 西野卓嗣	
	うはら かつ お 鵜原克夫	
	またがわ まさ み 北川正己	
	いしだ みち あき 石田道明	
	はまぐち ゆき お 浜口行雄	
	こうだ たかし 合田隆	
	あさの かおる 浅野薫	
常勤監査役	こばやし はる よし 小林晴美	
	みやうち とし ゆき 宮内利幸	
監査役	ふじおか ひろむ 藤岡弘	
	いなます いさむ 稲益勇	

株式の状況

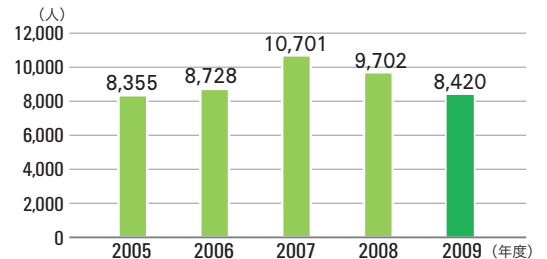
(2010年3月31日現在)

- 会社の発行可能株式総数 149,672,000株
- 発行済株式総数 51,353,708株

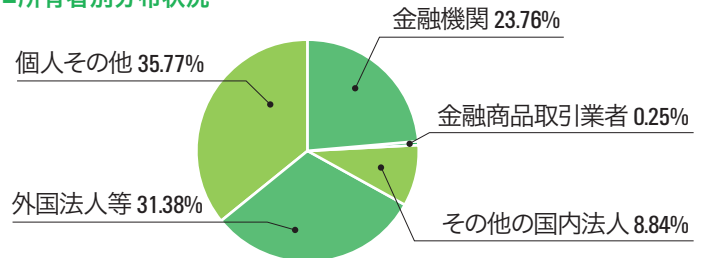
■株価・出来高の推移 (2010年5月31日現在)



■株主数の推移 (人)



■所有者別分布状況



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
大阪証券取引所市場第1部

- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株

■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先 (郵便物送付先・電話照会先)

〒541-0044 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

お知らせ

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

例えば「がん」。 より早期に発見できれば、 どれだけ多くの笑顔を守ることができるだろう。

病気の早期発見、
それは「検査」の役割であり、
「検査」の可能性を追求する
私たちの使命のひとつです。
独自の知識と技術で、
常にヘルスケアの新しい姿を創造する
研究開発姿勢。
時代や医療をとりまく環境が変化しても、
健やかな未来を願う私たちの想いは
創業以来、まったく変わりません。

より早期発見へ
より正確な診断へ
より身近な検査へ
より患者さんの負担が少ない検査へ

独自の技術で、より多くの「安心」を
世界中の人々にお届けするために。
ヘルスケアの次代を切り拓く
フロントランナーとして、
シスメックスは、検査・診断技術の進化に
挑み続けます。



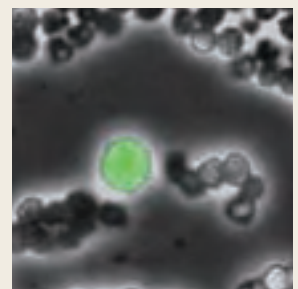
We Believe the Possibilities.

シスメックスの **と**り **く**み

「生きたがん細胞」を血液から検出する技術で、がんの早期発見へ

がんの転移には、病巣から血液中に遊離したがん細胞が関わっていると言われます。当社は、オンコリスバイオファーマ株式会社との共同研究で、血液中の「生きたがん細胞」を蛍光させて検出する技術（CTC検出技術）を

確立しました。従来の血清腫瘍マーカー検査やCTスキャンなどの画像診断に比べ、転移の可能性をより早期に、より正確に予測できる技術として、国立がん研究センターなどの研究機関と共同研究を行っています。



緑色に光る生きたがん細胞